

先生

先生は私にいった

ゴホン、ゴホンと咳をして

私にいったの

いつか、仕事の大半が

ロボットになってしまふんだ

そうしたら、人様の仕事はみーんな、

なくなってしまうだろうな

ふぁあとあくびをして

先生はまたゴホン、ゴホンと

いつも笑って送り出してくれる

隣のOLさん

いつも公園を掃除している

笑顔の素敵なおじいさん

いつもレジを打っている

お話し好きなおばあさん

いつもたこ焼きを作ってくれる

髪が茶色のお兄さん

みんなウィーン、ウィーンといいながら

働く日が来るのかしら

オハヨウゴザイマス

キョウモ、イイテンキデスネ

なんて、上面の言葉を並べて

そうしたら私もいつの日か

先生、先生 大好きな先生

どうか、どうかロボットになんてならないで

だってね、だってね

先生がロボットになんてなってしまったら

私の心もロボットになってしまうから

先生は目を見開いて

すぐに目を細くさせて

ゴメンネ、と